

地域共生ボランティアのすすめ

講演 早瀬 昇氏

(社会福祉法人 大阪ボランティア協会)



パネルディスカッション

～地域共生社会への活動～

パネラー 小辻 寿規氏 (NPO 法人 つながる KTOTO プロジェクト)

宇野 明香氏 (NPO 法人 happiness)

狭間 明日実氏 (バザールカフェ)

ファシリテーター

浅川 澄一氏 (福祉ジャーナリスト)

開催日：平成4年10月2日(日) 14時00分～16時20分

会場：京都市国際交流会館 2階 特別会議室

主催：公益社団法人 長寿社会文化協会

後援：京都市教育委員会、京都市社会福祉協議会、京都新聞社会福祉事業団

2022年度 日本財団助成事業

「コミュニティカフェ等、地域共生社会のための活動の担い手育成」

「地域共生ボランティアのすすめ」

令和4年10月2日(日) 午後2時～午後4時20分

京都市国際交流会館 2階 特別会議室



講演

早瀬 昇

社会福祉法人

大阪ボランティア協会

理事長

連絡先

〒540-0012

大阪府中央区谷町 2-2-20 2階
市民活動スクエア CANVAS 谷町

TEL 06-6809-4901

FAX 06-6809-4902

e-mail : hayase@osakavol.org

プロフィール：1955年大阪府生まれ。1973年大学入学と同時に「大阪交通遺児を励ます会」の活動に参加。以後、地下鉄のバリアフリー化を進める「誰でも乗れる地下鉄をつくる会」など、様々なボランティア活動に参加する。京都工芸繊維大学・工学部（電子工学科）卒業後、1977年～78年 フランス・ベルギーの社会福祉施設（L'ARCHE：仏語で「箱舟」の意）でケアスタッフ。1978年社団法人大阪ボランティア協会（1965年設立。1993年7月に社会福祉法人に組織変更）に就職。1979年大阪府立大阪社会事業短期大学（現大阪府立大学 社会福祉学科）専攻科 修了。1991年大阪ボランティア協会事務局長に就任。協会内に、企業市民活動推進センターを創設。1995年阪神・淡路大震災発災時には、全国の市民団体や経団連1%クラブと連携し、日本最初の災害ボランティアセンターを担う「被災地の人々を応援する市民の会」を結成。2019年6月より大阪ボランティア協会 理事長に就任。2021年4月より同志社大学 政策学部 客員教授に着任。現在：社会福祉法人 大阪ボランティア協会 理事長、同志社大学 政策学部 客員教授、認定特定非営利活動法人 日本ファンドレイジング協会 副代表理事、特認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター 顧問（前・代表理事）、認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 理事、日本ソーシャルイノベーション学会 理事 など。

自他ともに認める熱烈的な阪神タイガースファン。ビートルズをこよなく愛する。「典型的なB型」（要は「落ち着きがない」）と言われるが、本人は血液型と性格の関係を信じていない（実際、典型的な「俗説」です）。フルボディーの赤ワイン党。水瓶座、動物占いで「（波乱に満ちた）ベガサス」。

【主な編著書】

『「参加の力」が創る共生社会－市民の共感・主体性をどう醸成するか』（単著・ミネルヴァ書房、2018年）

『寝ても覚めても市民活動論』（単著・大阪ボランティア協会、2010年）

『ソーシャル・イノベーションの理論と実践』（共著・明石書店、2022年）

日本財団助成事業

「コミュニティカフェ等、

地域共生社会のための活動の担い手育成」

2022年10月2日

地域共生ボランティア のすすめ

社会福祉法人 大阪ボランティア協会 理事長
同志社大学 政策学部 客員教授

早瀬 昇



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

1

講師の紹介 早瀬 昇 と申します

1965年設立(今年、創立57年目)の民間市民活動推進組織
大阪ボランティア協会(大阪ボラ協)で活動してきました。

1973年に電子工学を学ぶ大学生になったのに、ひょんなことで
大阪ボラ協に拠点を置くボランティアグループに参加。

結局、1978年、大阪ボラ協に就職。1991年から事務局長を
務め、企業市民活動推進センターを創設。阪神・淡路大震災
では日本初の災害ボランティアセンターを創設。NPO法の
立法運動などにも関わった後、2010年に退職。2019年から
ボランティアの立場で理事長を務めています。

1996年に創設した日本NPOセンターの代表理事も2010年
から2018年まで務めていました。(今は顧問)

また現在、日本ファンドレイジング協会の副代表理事、日本
ボランティアコーディネーター協会の運営委員も務めています。

また2019年度に地域の自治会長を仰せつかり、住民の皆さんの
お話を伺いながら、仲良く住みよい地域にするべく努力しました。

2020年度から同志社大学政策学部の客員教授も務めています。



社会福祉法人
大阪ボランティア協会

2

1. ボランティア活動の 自由なスタイル

～「全体」をふまえて
“ドッシリした” (だから重い) 行政
「私」から始められる
“自由な” ボランティア活動



1. ボランティア活動の自由なスタイル

(1) ボランティアの堅いイメージの背景

理科系の私が、
大阪ボランティア協会に
就職したら…

父親が激怒

その時、母親が言ったのが…

「お父さん、_____。
_____になったと思って…」

1. ボランティア活動の自由なスタイル

(1) ボランティアの堅いイメージの背景

ボランティアのキギは…

やる気(自発性)

世直し(社会性・公益性)

手弁当(無償性)

手弁当でも動くのは、我慢するからではなく

**_____おけないから！ それに、
_____できないから！ _____から！**

1. ボランティア活動の自由なスタイル

(2) テーマ、対象、ペースを選ぶ

お役所は「全体の奉仕者」。公平・平等が原則。
では、住民・市民の活動は…

・何をするか？ ⇒ **選べない**と…

・どう、選ぶか？ ⇒ 一番の鍵は _____ なテーマ

※「野鳥の会」はあるけれど、「_____の会」はない

ボランティア(自主的活動)は、_____にしなくて良い！

1. ボランティア活動の自由なスタイル

(3) 始めたら止められない…ことは……

お役所では「朝令暮改」は禁忌。
始めたら止められない(続かない活動は進めない)。
では、住民・市民の活動は…

・「細く長く」の本当の意味は？

⇒長く続けるため、派手さは避け、地道にコツコツ△

⇒細くても____。長く続けたら_____！○

・入しやすい「お店」のポイントは？

—「____やすい店」!!

1. ボランティア活動の自由なスタイル

(4) 私を「開く」と「公共的」(世直し)になる

～普段の暮らしの“すぐ隣り”にある世界

・コレクションの美術品を公開すると

・会社の福利厚生施設を開放すると

・休日に子どもと遠足。近所の子も誘うと

1. ボランティア活動の自由なスタイル

(4)私を「開く」と「公共的」(世直し)になる

～普段の暮らしの“すぐ隣り”にある世界 淀川下流の土佐堀川に架かる「淀屋橋」

大坂の淀屋は、なぜ「淀屋橋」を架けたのか？

たかったから！
(ほしかったから！)

自分のためでも、
みんなのためにもなれば
「公共的」になる



1. ボランティア活動の自由なスタイル

(5)ボランティア活動は「恋愛」に似ている

- ① 自発的な無償(お金のためではない)の行為
- ② 対象を選べる
- ③ 好きであることが選択の重要な基準となる
- ④ 出会いは偶然によるところが多い
- ⑤ しんどいこともあるが自分自身も元気になる活動
- ⑥ 自分が満足するだけでは、うまくいかない
- ⑦ 止める時、別れる時が辛く難しい
- ⑧ 心移りをするところがある ...

★ 違うのは、「開いている」か「閉じている」か

2. 「参加の力（“威”力編）」

～自発的だからこそこの“強み”

【「地域共生」を生み出す市民の力】



1. 自発的だからこそこの強み

(1) 大震災で認知された市民活動の意義

～阪神・淡路大震災での体験から

多くの人々が家に閉じ込められた! 救ったのは?

・消防署? レスキュー隊? **実は近隣住民! (近助)**

要救出者の救助



■ 警官、消防、
自衛隊が救出

■ 近隣住民等により救出

警察、消防、自衛隊が救出した方のうち、約半数は死亡

近隣住民等により救出された方のうち、約8割が生存

1. 自発的だからこそその強み

(2) 平時にも(平時こそ)生きる優れた特性

- ・全体に拘束されないから「機動的」
⇒“ほっとかれへん!”のフットワークが生きる
- ・それぞれの個性を活かすがゆえの「多彩さ」
⇒“みんな違う”から気づけ築ける多様な課題と活動
- ・個々に応じることができるから「温かい」
⇒“不公平にならざるを得ない”ことが強みに!
- ・自己責任で多彩な活動を「開発・創造」

※ そこで、市民と行政の「協働」論が活発化…

多様な市民などの公共サービス

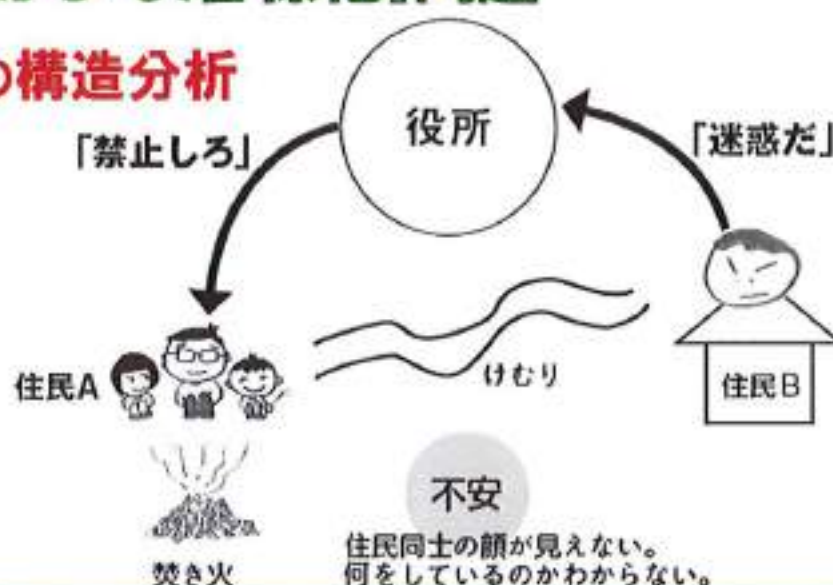


行政による公平な公共サービス

2. 真の課題:「お客様化」社会の病い

(1) 広がる「お客様化」問題

禁止の構造分析



(出典)『遊びの生まれる場所』西川 正から

(2) 人々が社会課題の「当事者」意識を高め、「自治」の街をつくる

～市民の力で、しなやかに「共生」のまちづくり

存在として「当事者」である人(課題を抱える人々)

⇒ 対語: 第三者的に傍観(他人事扱い)されやすい
・かわいそう、役所が悪い、私は関係ない…

行為により「当事者」になる人

⇒ 市民を「当事者」にしていく市民活動
自身で悩み工夫し解決する中で「自分事」に

(2)人々が社会課題の「当事者」意識を高め、「自治」の街をつくる

～頑張る人が孤立しない 辛さを分かち合える街へ

課題と出会う

(誘われたから／お付き合いで……)



自分自身のあい方、関わり方を「問う」

(問題をどう受け止めれば良い？ 自分は関係ないのか？ 将来の自分の問題ではないのか？ 自分が活かさないか…)



自分が関われば変えられる！…かもしれない…

(変える力が自分にある…かもしれない。よし、やろう！)

(2)人々が社会課題の「当事者」意識を高め、「自治」の街をつくる

～頑張る人が孤立しない 辛さを分かち合える街へ

存在として「当事者」である人(課題を抱える人々)

⇒対語: **第三者的に傍観**(他人事扱い)されやすい
・かわいそう、役所が悪い、私は関係ない…

行為により「当事者」になる人

⇒市民を「**当事者**」にしていく市民活動
自身で悩み工夫し解決する中で「**自分事**」に

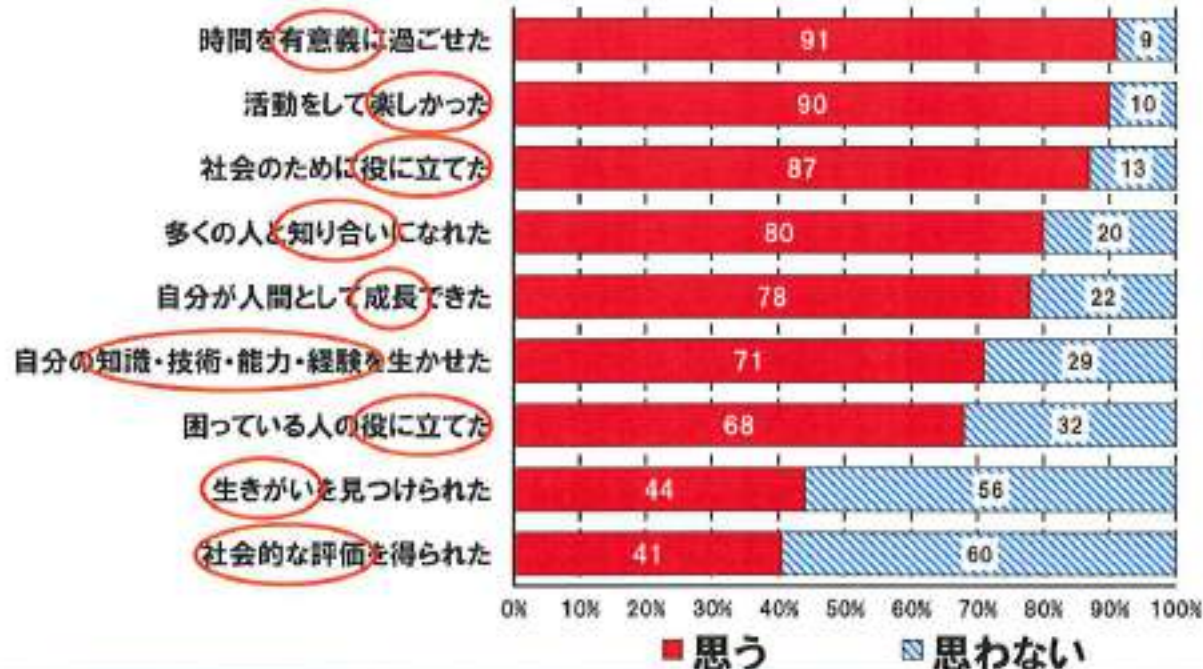
3. 「参加の力(“魅”力編)」

～「参加」で生まれる 市民の元気

【活動意欲が高まるために】



1. 活動で得られる「メリット」



2. 活動する人自身も、元気になる

～ 人口構成は、どう変化するか

	2020年	2025年		2030年	
総人口	1億2,533万	1億2,254万	△278万 △2.2%	1億1,913万	△620万 △4.9%
0～14歳	1,508万	1,407万	△100万 △6.6%	1,321万	△186万 △12.4%
15～64歳	7,406万	7,170万	△236万 △3.2%	6,875万	△530万 △7.2%
65歳～	3,619万	3,677万	58万 1.6%	3,716万	262万 7.7%
65～74歳	1,747万	1,497万	△250万 △14.3%	1,428万	△320万 △18.3%
75歳～	1,872万	2,180万	308万 16.5%	2,288万	416万 22.2%

国立社会保障・人口問題研究所による
中位推計

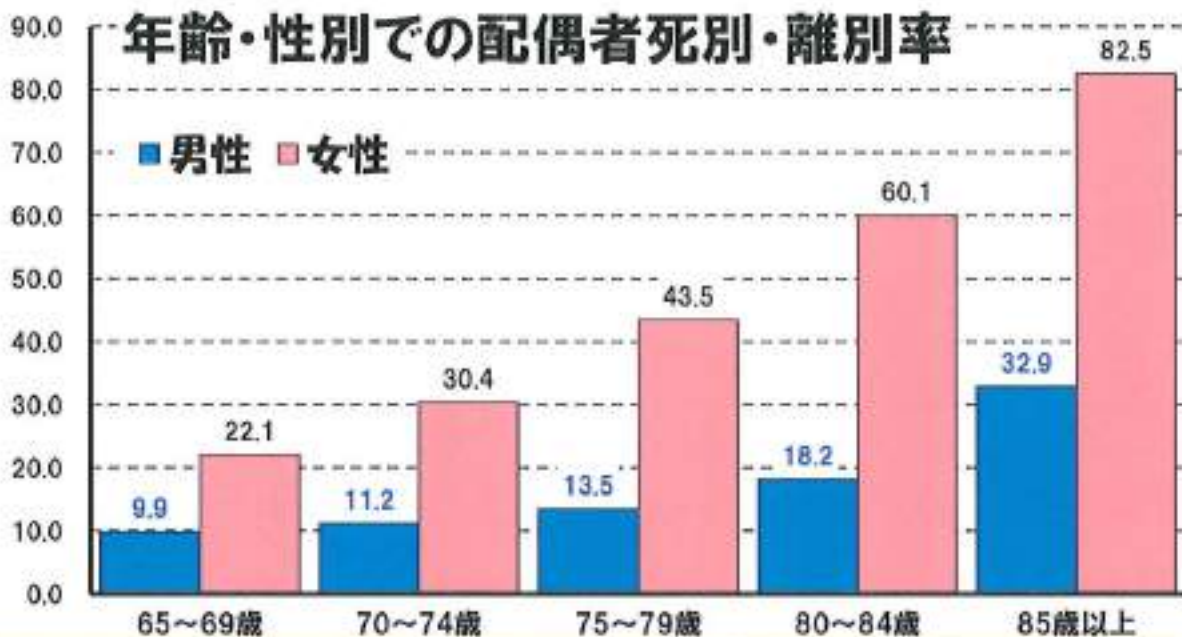
2. 活動する人自身も、元気になる

年齢・性別での認知症有病率



東京御健康長寿医療センター
の報告書(2014年3月)から

2. 活動する人自身も、元気になる



国勢調査
(2015年)から



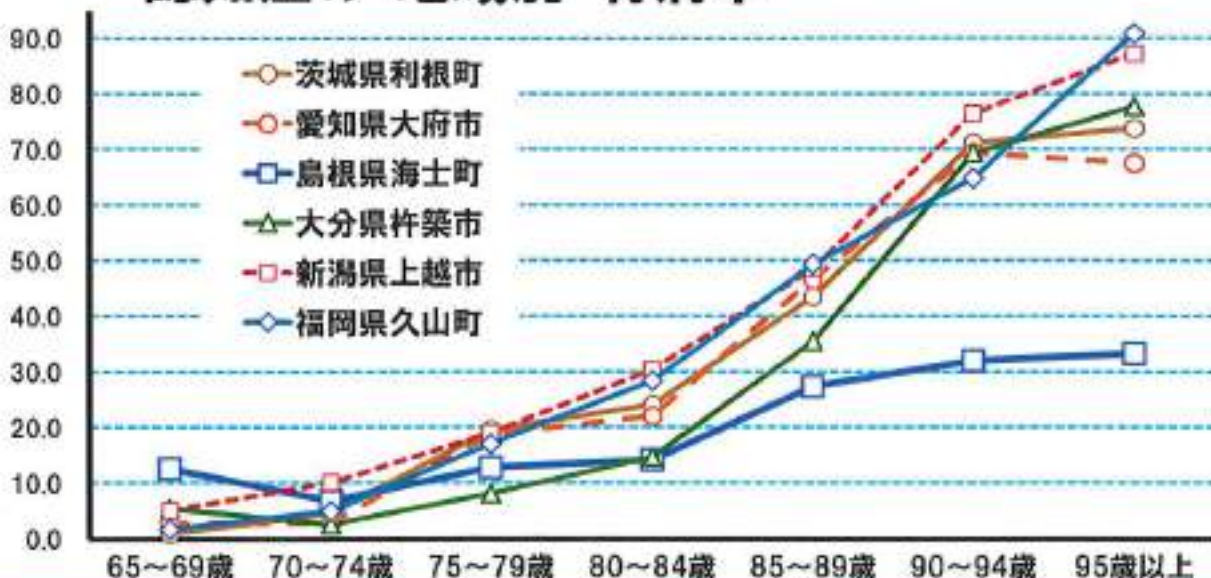
特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 23

2. 活動する人自身も、元気になる

認知症の“地域別”有病率



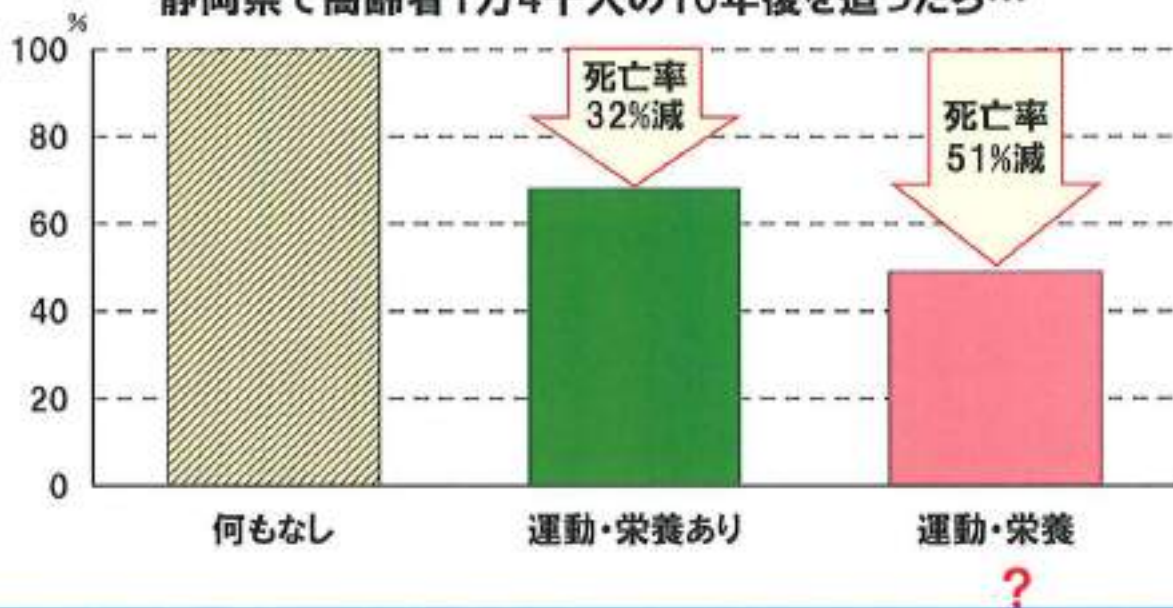
総合研究報告書「都市部における認知症
有病率と認知症の生活機能障害への対
応」(2013)から



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 24

2. 活動する人自身も、元気になる

静岡県で高齢者1万4千人の10年後を追ったら…



「静岡県高齢者コホート調査に基づく運動・栄養・社会参加の死亡に対する影響について」(第58回 東海公衆衛生学会)

※ ボランティア活動参加は「前向き」を促進

所属コミュニティと「キャリア展望」の関係(因子得点)



(出典)リクルートワークス研究所(2018)「人生100年時代のライフキャリア」の掲載図を元に一部修正。「キャリア展望」とは、今後のキャリアの見通しが開けている状態を意味し、図の数値はこれからのキャリアや人生について「自分で切り開いていける」「前向きに取り組んでいける」「明るいと思う」の合成変数。

4. 地域共生活動を始めよう

～多彩に取り組まれている コミュニティカフェ



1. ボランティア活動の始め方

※ ご自身を「開く」を始める時も…

- ① 趣味や得意なこと、好きなことを活かす
- ② 最初は「半身」がお勧め。思い詰めないことが秘訣
～ まず、いろいろな活動をのぞいてみよう
- ③ 自分も困っている(いた)ことを、仲間と解決する
- ④ 組織人の持ち味が生かせるボランティア活動とは？
～ 「運動とは事務なり」は誰の言葉？

2. 「コミュニティカフェ」とは

※人と人とを結ぶ

地域社会の場や居場所の総称

飲食スペースが設けられている = **【縁食の場】** = 他は、

- ・イベントやワークショップを行ったり、
 - ・展示スペースを設けたり、
 - ・地域の住民の手作りの品を販売したり、
 - ・地産地消の食材を利用した飲食を提供したりと、
- 内容もカフェによって多様。(営利・非営利も多様)

縁食:「孤食」「共食」に対する藤原辰史・京大准教授の造語

3. 多様な「コミュニティカフェ」

※「開く」ことで生まれる多様な出会い

- ・コミュニティスペース、カルチャースペース、子育て広場、認知症カフェ、子ども(地域・みんな)食堂…
- ・ラーメン屋が、月に一度、「歌声ひろば」。みんなが主役に
- ・障害者の作業所だった場を、アート活動の場に展開。町会の集会場になったり、学びの場になったり…
- ・日替わり店主方式で、運営者もオープン
- ・みんなが集うレストランで、料理教室。来客がより主体的に交流する場を設定 などなど

5. 仲間づくり、連携… のための発想法

～「頑張る人ほど
疲れてしまう」ことにな
らないために



1. 自発的であるがゆえの弱点

(1)「基準がない」がゆえの“しんどさ”

自発的**活動**には、とても自由な面があるけれど…

(言われなくても、する！ 言われても **納得しない**と、_____)



ゆえに、ここまですれば良いという「**基準**」がない

行 政⇒ 全体の合意(議会の了解、法令)

企 業⇒ 経営者の自由な判断。だけど、**損は**_____

市民活動⇒ 周囲の理解がなくとも
一銭の得にならなくても、**やる時は**_____

(1)「基準がない」がゆえの“しんどさ”

★頑張る人ほど…
疲れてしまう！

- 『疲労と不信の悪循環』
(早瀬 昇)
- 『自発性パラドックス』
(金子郁蓉)
- 『惜しみなく愛は奪ふ』
(有島武郎)



(2)「疲労と不信の悪循環」対策は？

★では、
対策は？



2. 弱点克服のための発想法

(1) 多様な志向が並立・連携するために

熱心なグループほど「仲間割れ」をしやすい!

・「仲間割れ」をしない2つのパターン

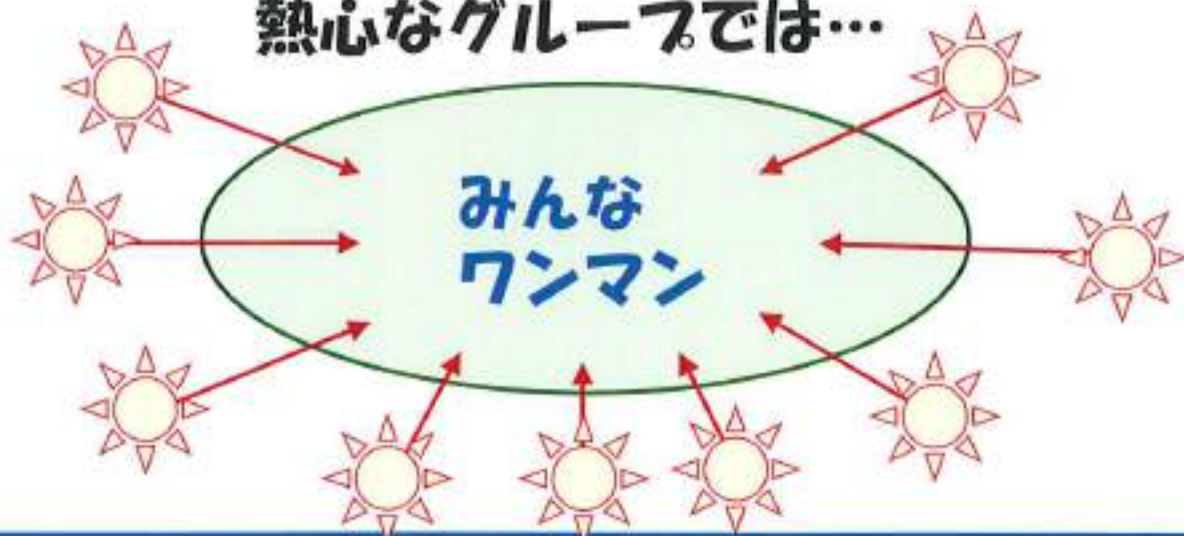


- ・あまり熱心ではない
- ・強力なドンがいる

2. 弱点克服のための発想法

(1) 多様な志向が並立・連携するために

熱心なグループでは…



2. 弱点克服のための発想法

(1) 多様な志向が並立・連携するために

かつての組織論だと…

一致団結！

**「敵」に立ち向かうには有効
だけど…**

2. 弱点克服のための発想法

(1) 多様な志向が並立・連携するために

元気なネットワークづくりの秘訣は…

※ そもそも「ネットワーク」は
組織ではありません。「面識」です

正しさを切り捨てず、
あれもこれも（複数並立、歓迎を！）

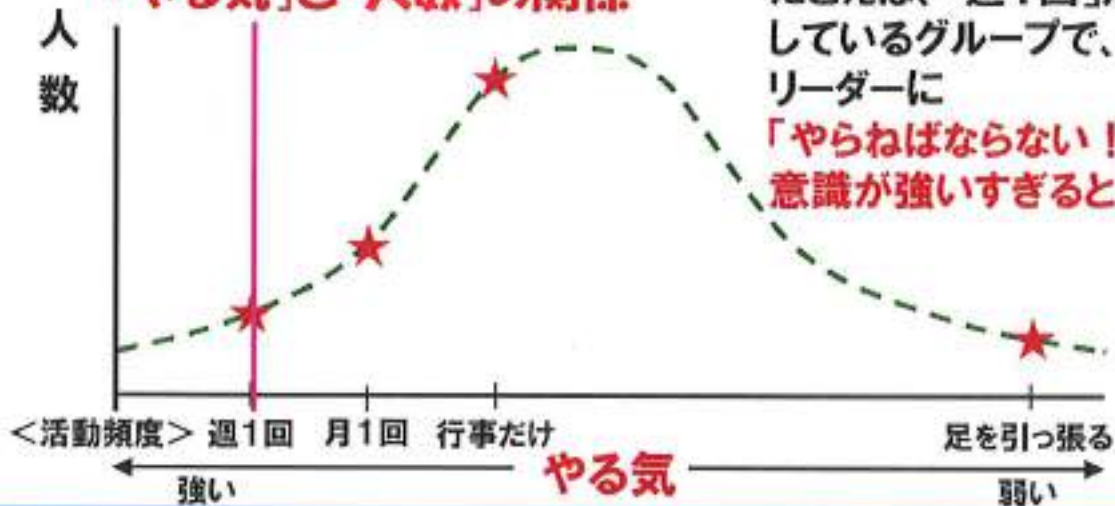
和して、同ぜず ← 論語にある
「孔子」の言葉。



2. 弱点克服のための発想法

(2) 多様な仲間の輪を広げるために

「やる気」と「人数」の関係

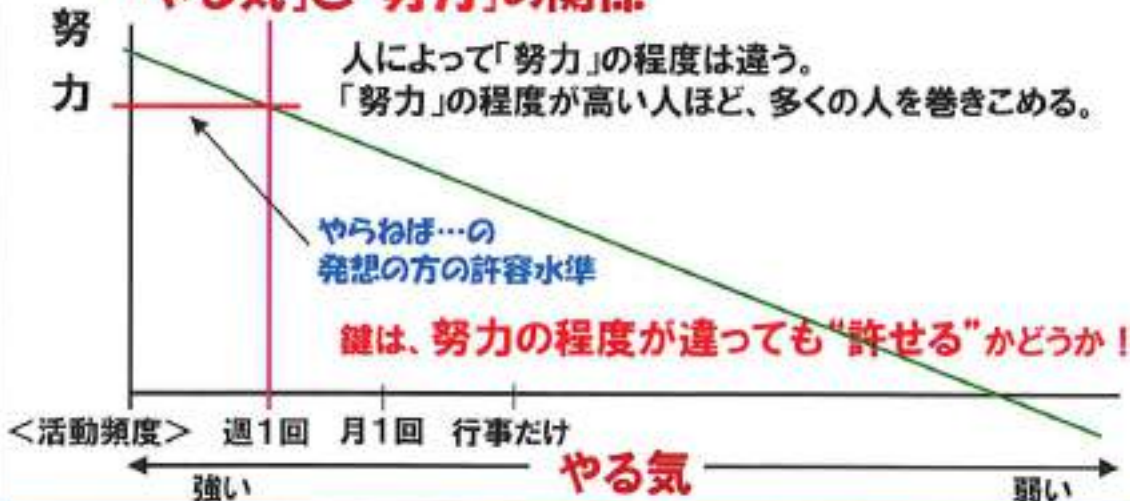


たとえば、「週1回」活動をしているグループで、リーダーに「やらねばならない！」の意識が強いすぎると…

2. 弱点克服のための発想法

(2) 多様な仲間の輪を広げるために

「やる気」と「努力」の関係



人によって「努力」の程度は違う。
「努力」の程度が高い人ほど、多くの人を巻きこめる。

やらねば...の
発想の方の許容水準

鍵は、努力の程度が違ってても“許せる”かどうか！

※ 「孤独」とは
愛することを_____状態!!

失恋とは…

子どもが…

自分自身が…

愛されることは大切。だけど…



自発的とは、言われなくてもする。
言われても、納得しなかったら、しない。

ボランティア活動は、
_____ではありません。
でも、_____の世界です。

新たな仲間と役割を得て、
ご自身も益々、元氣になり
素敵なお地域を創造していきましょう!!



パネラー

小辻 寿規

NPO 法人 つながる KYOTO
プロジェクト理事長

立命館大学

共通教育推進機構准教授。



連絡先

〒602-0835

京都市上京区革堂内町 522

TEL 050-3593-6615

e-mail : machi.ibasyo@gmail.com

2022 年度 日本財団助成事業

「コミュニティカフェ等、地域共生社会のための活動の担い手育成」 「地域共生ボランティアのすすめ」

パネルディスカッション

～地域共生社会への活動～

令和 4 年 10 月 2 日 (日) 午後 2 時～午後 4 時 20 分

京都市国際交流会館 2 階 特別会議室

プロフィール：NPO 法人つながる KYOTO プロジェクト理事長。立命館大学共通教育推進機構准教授。1985 年 7 月京都市生まれ。日本学術振興会特別研究員(DC2)、大谷大学社会学科地域連携コーディネーター、京都橋大学現代ビジネス学部助教等を経て現職。大学時代より「人と人とのつながり」に興味を持ち研究をはじめ。専門は社会学(主にまちづくり学、地域社会学、都市社会学)、社会福祉学(高齢者福祉学、地域福祉学)。主に研究をおこなっているテーマは孤独死問題、社会的孤立問題、まちの居場所(コミュニティカフェ)、若者による地域活性化、地方創生。ボランティア活動は大学生時代から行うようになり、生涯学習や福祉等、様々な分野に携わる。現在も様々な活動に関わっており、草津市教育委員会教育委員、NPO 法人山科醍醐こどものひろば理事、公益財団法人草津市コミュニティ事業団理事などを務める。主な論文に「高齢者社会的孤立問題の分析視座」『コア・エシックス』、「まちの居場所の研究——まちの学び舎ハルハスの事例より」『生存学研究センター報告 19 戦後日本の老いを問い返す』、「孤独死報道の歴史」『コア・エシックス』(共著)がある。

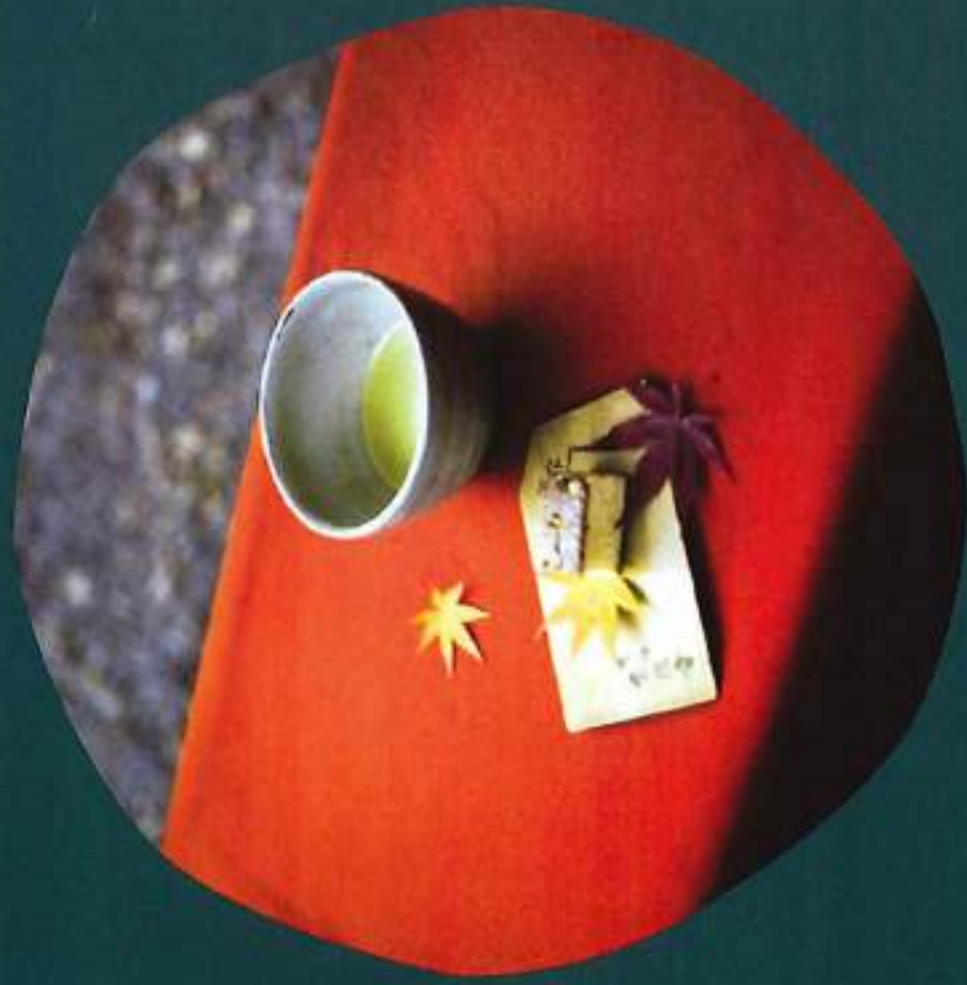
つながる KTOTO プロジェクトの紹介：NPO 法人つながる KTOTO プロジェクトでは、まちの居場所(コミュニティカフェ)の普及及び支援・研究活動やまちづくりの支援活動をしています。前身としては京都市未来まちづくり 100 人委員会の「人をつなぐ福祉のコミュニティづくりチーム」と立命館大学産業社会学部社会調査士実習クラスによる協働の活動がそれにあたります。2013 年 2 月 12 日に特定非営利活動法人格を取得し、法人としての活動を開始しました。主な仕事：(コンサルタント) まちの居場所を運営したいけど、どうしたら良いかわからない等のお声に対して、有料でコンサルタントなどを行う他、講師等を派遣します。(まちの居場所開設講座) これまで、大学生向けのまちの居場所開設講座(同志社大学での 2018 年度～2022 年度までの授業)のほか、適宜、開設希望者に対して講座を実施してきました。運営者から、運営のコツや最新情報などを教えてもらう勉強会やツアーなども行っています。(まちの居場所研究) メンバーに研究者が多いメリットを生かし、まちの居場所の学術的研究を行っています。研究成果については、論文やシンポジウム等で、その結果を公表し、政策提言などを行っています。

地域共生社会を 育む仕掛けづくり

NPO法人つながるKYOTOプロジェクト理事長

立命館大学共通教育推進機構准教授

小辻寿規（こつじひさのり）



プロフィール 今日の講演に関係しそうなこと

1985年7月7日生ま
れ

京都府京都市出身

立命館大学共通教育
推進機構准教授

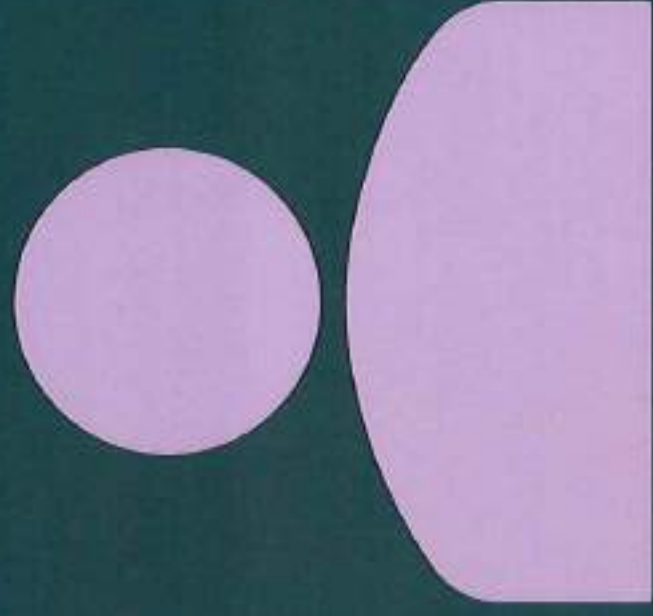
NPO法人つながる
KYOTOプロジェクト
理事長

NPO法人山科醍醐こ
どものひろば理事

草津市教育委員会教
育委員

公益財団法人草津市
コミュニケーション事業団
理事

審議会等委員
多数



NPO編



2012年1月1日 京都新聞 (03)

つながるKYOTO
プロジェクト・リーダー

小辻寿規さん (26)



集ら仕掛けづくり

誰にも愛されるべく、人が好きな人はあ
 ス「まわりの縁側」は10 えて話しかけずには
 年ほど前から東京や つ、いると時代の
 横浜など都市部の旧ア ンも大勢です。
 興住宅地で増えたい言 ても大勢です。
 す。高齢化を背景とし ても大勢です。
 地域福祉の手が届か ても大勢です。
 い部分を、市長も、

私自身、ホムランテ
 活動や市民活動を行
 きたことが今のキヤ
 につながりました

つながる
KYOTO
プロジェクト
の活動

コミュニティ・カフェ等の中間支援

大学での授業の実施（同志社大学）

各種勉強会の実施

まちづくりイベントのお手伝い

まちづくり関連の研究



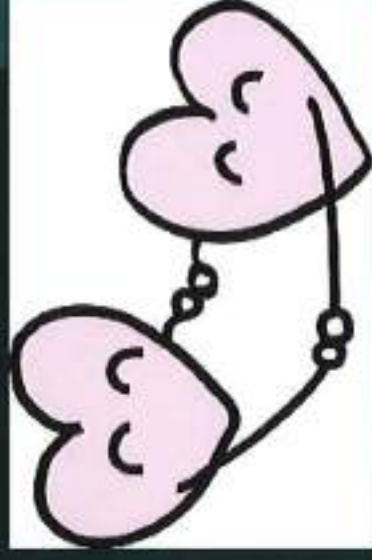
誰でも歓迎！二たつに入っほつニいしませんか？

日時 : 2021年12月1日
12:00 ~ 16:00



つながるKYOTOの活動において 重要なこと

- メンバーの強みを活かした活動をする
- メンバーの専門外のことにはあまり手を出さないこと
- 外部の人を巻き込むということ
- 活動のゴールを設定すること
- 無理をしないということ



NPOの活動とメンバー の仕事循環していく



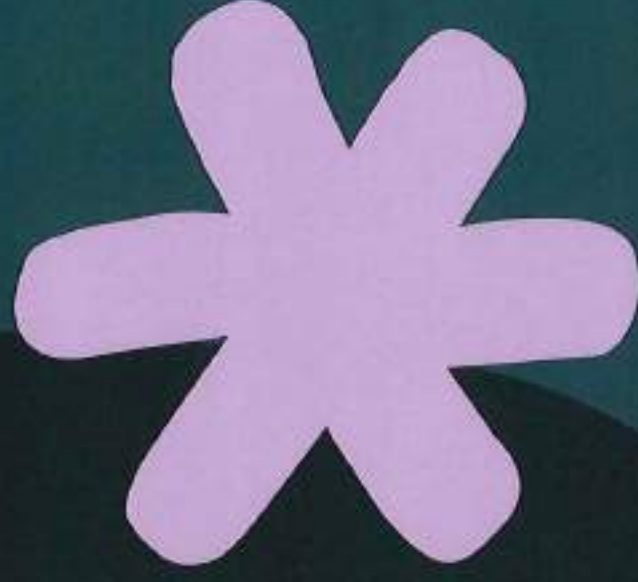


大学編



ボランティアって何？

- 自発的に他人・社会に奉仕する人または活動
- 本質は自発性と社会的な問題提起やその解決
- 無理やりやられるものではない
- みなさんだって無理やり来てはいいないでは
ず！！（動員だったららごめんなさい）

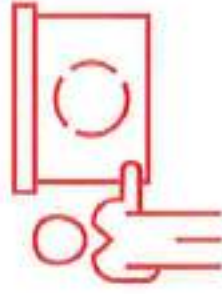


ボランティアを送り出す立場の人間として

サービスマーケティング

社会活動を通して市民性を育む

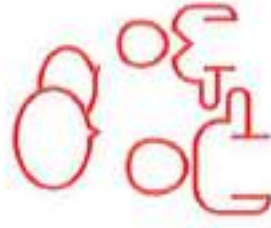
地域や課題の理解
現場での気づき・発見の
ふりかえり



大学

デスクワーク (教室)

地域の活性化や
課題解決の進捗を
目指した活動

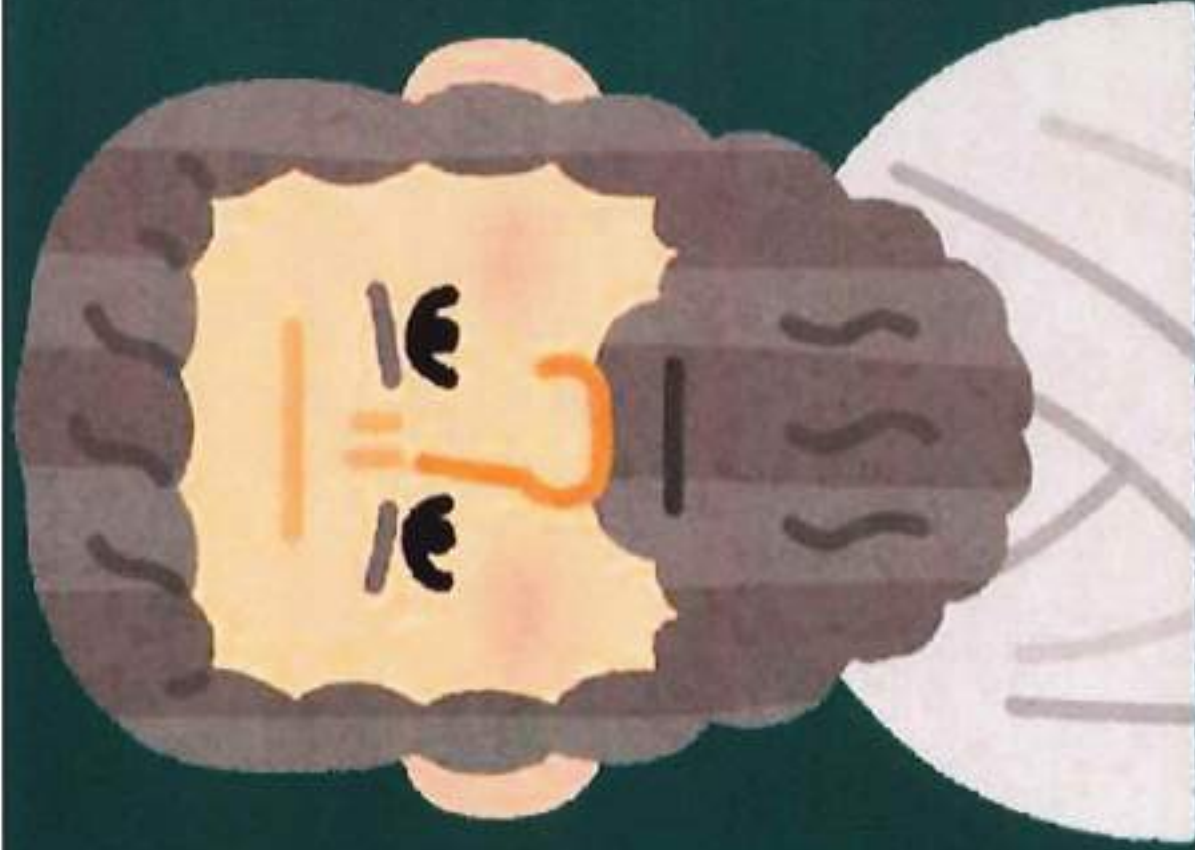


地域社会

フィールドワークの現場

ボランティアするだけで 終わらない

- ボランティア活動から社会を見る眼
差しを育てる
- 成功体験や失敗体験を振り返ること
により次の活動につなげる
- 活動に関する書籍を読んだり、動画
を見たりすることにより理解を深め
る



ボランティアで
人生を豊かに

ボランティア

募集中



地域共生ボランティアも一つの形

地域共生の社会活動家になることも一つの形

ボランティア経験やそこから学んだことを社会に発信することも一つの形

2022年度 日本財団助成事業

「コミュニティカフェ等、地域共生社会のための活動の担い手育成」

「地域共生ボランティアのすすめ」

パネルディスカッション

～地域共生社会への活動～

令和4年10月2日(日) 午後2時～午後4時20分

京都市国際交流会館 2階 特別会議室



パネラー

宇野 明香

NPO法人 happiness

理事長



連絡先

〒601-8451

京都市南区唐橋川久保町1-20

TEL 050-5218-9179

e-mail :

happiness.kyoto@gmail.com

プロフィール：1981年10月13日生れ。一男一女(実子)、16歳、6歳の里親。特定非営利活動法人 happiness 理事長。京都市里親会理事。京都市地域コミュニティ活性化推進審議会委員。2016年ボランティア団体ハピネスを立ち上げ2018年にハピネスカフェをオープン。2019年にはNPO法人化を実施し、現在も継続中。昨年度の子ども食堂の利用者数は延べ4300人。現在では京都府下の子どもの居場所づくりの専門家として、複数の子ども食堂の立ち上げに関わる。また、少女のシェルターを立ち上げ行政がカバーしきれない分野にて精力的に活動中。生活で困っている人に無償で食料を届ける「フードパントリー」の活動にも取り組む。子ども食堂を続けたいために、コミュニティカフェ「ハピネスカフェ」を開店、京都のおばんざいとコーヒーを楽しみながらホット一息つく場所を皆さんに提供。

「ハピネス子ども食堂」の紹介：「こどもの孤食を減らしたい」今、共働きやシングル家庭の増加などから、ひとりで食事をとっている子供たち(孤食)がすぐ近くにたくさんいることに気がきました。コンビニのインスタントばかり食べている子やお菓子でお腹いっぱいにさせている子。ひと昔前には当然だった、「食事」を通したコミュニケーションからこどもたちがすくすくと育っていきけるような居場所にしていきたいとおもっています。

「家庭環境による学習格差をなくしたい」わからないところがあっても、お留守番をしていると聞ける人がいません。おとなの帰りを待っている子供たちは、家のお手伝いに追われたり、夜遅くに宿題をすることもできなくて、わからないことをわからないまままで終わらせてしまうこともしばしばです。ハピネスでは一緒に宿題をして、勉強することの楽しさや、その日学校であった話を聞き、どんなことが嬉しかったのか、悲しかったのか、悔しかったのか、こどもたちに寄り添い成長を見守っていきたいです。

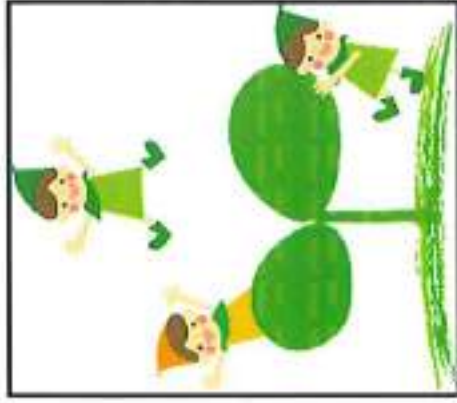
「たまにはのんびりしたい」仕事と家庭を両立していると、毎日が戦争のように過ぎていきます。ほとんどが核家族世帯となりサポートしてもらえない環境もなく働いているお母さん(お父さん)は毎日必死です。たまには息を抜ける場所も必要だと思います。ぜひハピネスを活用してリフレッシュしてみてください。(大人の参加は300円です)

NPO法人Happiness

宇野明香

happinessの目的

子どもたちが健やかに
育つことのできる
社会づくりを目指す



What's Happiness??

2016年 ハピネス子ども食堂立ち上げ

2017年 学習会スタート (月4回に)

2018年 ハピネスカフェ オープン

2019年 NPO法人happiness設立

2020年 特例認定NPO取得

2021年 週3回の子ども食堂開催

2022年 ハピネスハウス開始



週2 子ども食堂@唐橋文化教育会館 唐橋自治会 X happiness



ハピネス子ども食堂

- ・南区唐橋学区にて実施（東寺近く）
- ・毎週月曜日と水曜日開催
- ・子どもは無料（大人は300円）
- ・幼児から高校生まで（メインは小学生）
- ・毎月イベントを実施中
- ・参加ボランティア数は13名前後
- ・1開催の子ども参加人数は60名程



誰でも
参加OK!!

週1 カフェ食堂 (クロースド) @ハピネスカフェ





Happiness * cate
日曜・水曜定休
open 7:30~15:00



MAP

月1 フードパントリー セカンドハーベスト京都Xユースサービス協会

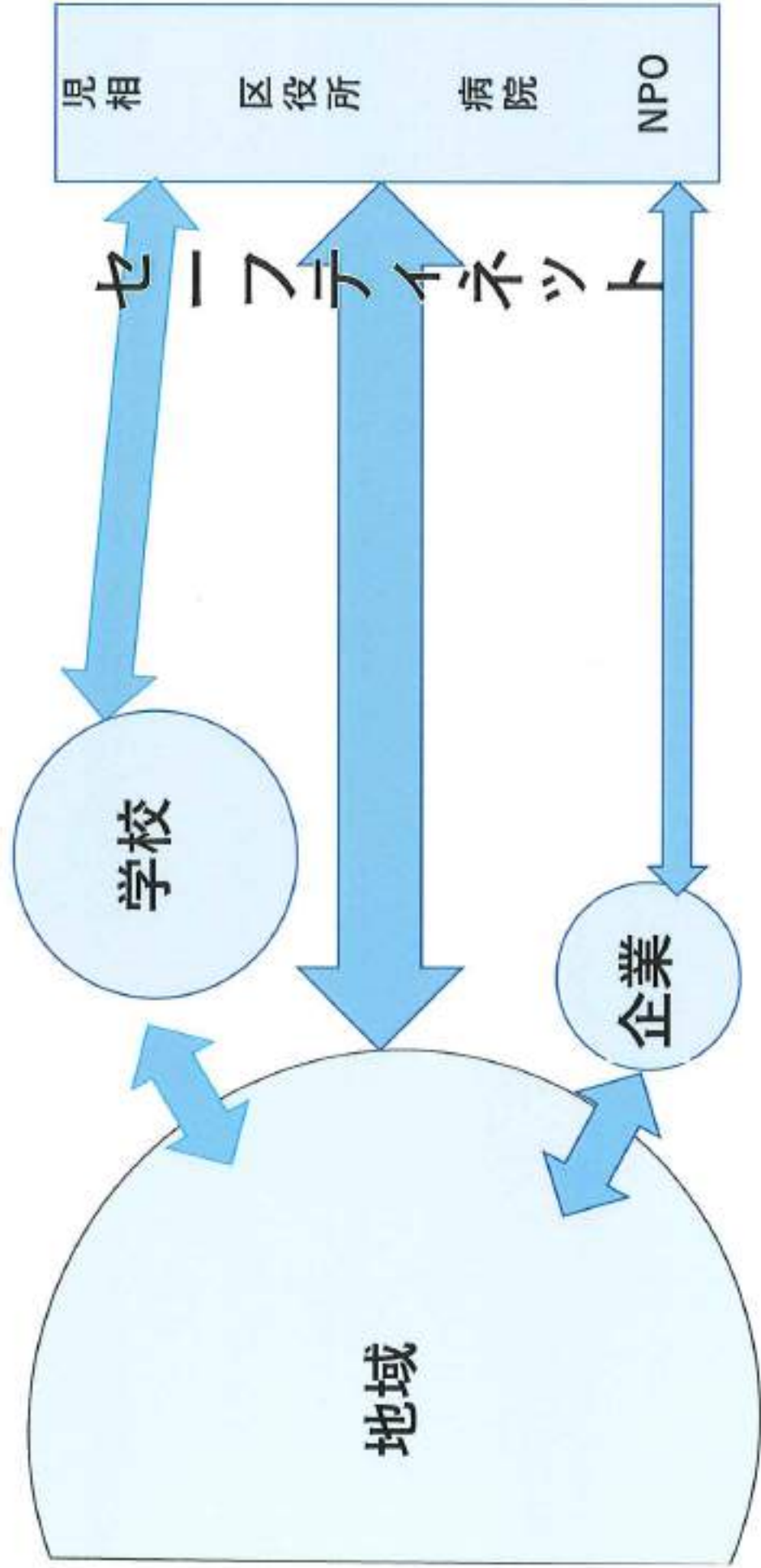


随時 ハピネスハウス
シェルター

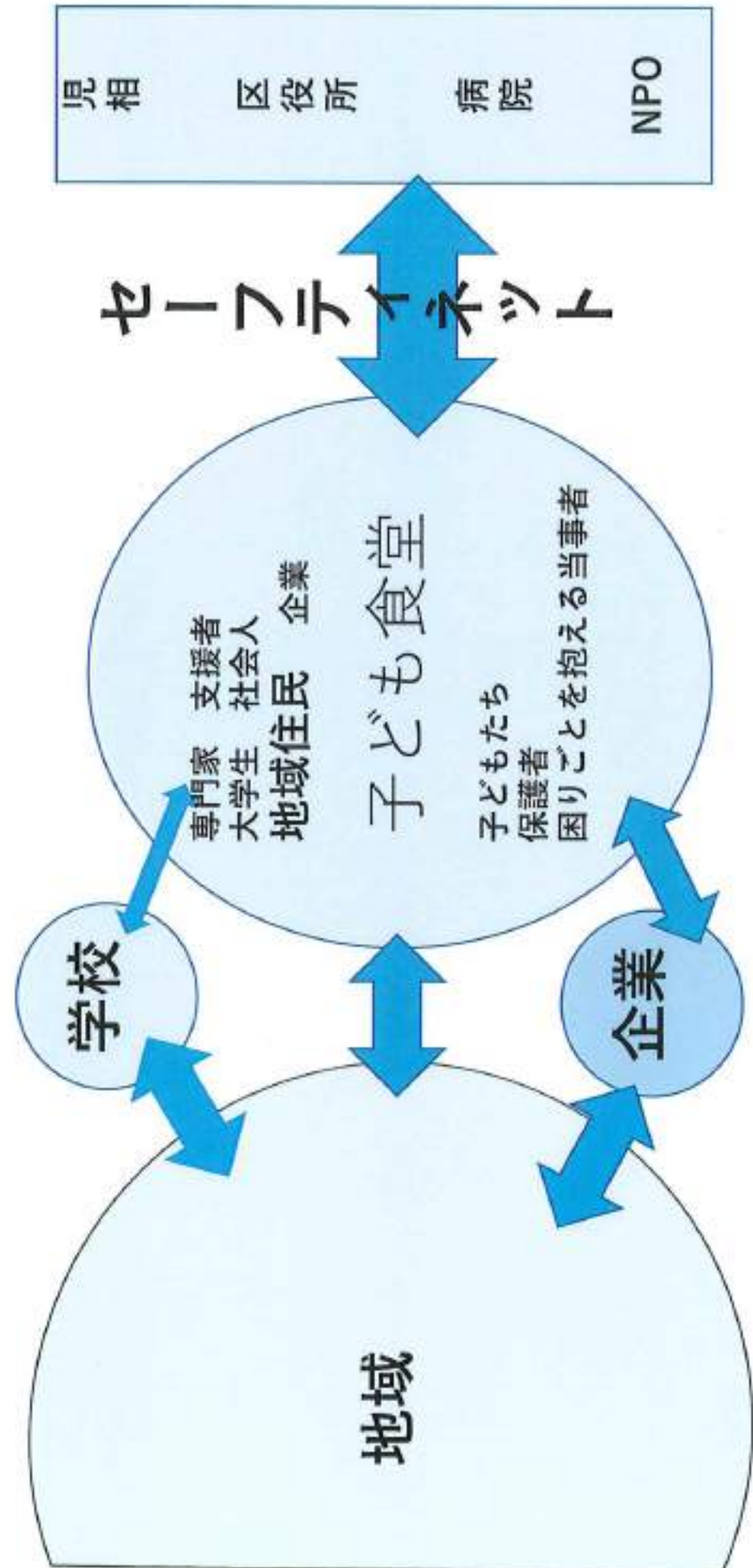


住所非公開

全体図



全体図



困っていること

- 必要な人の元に情報を届けること
 - 活動を継続するための稼ぐ力
- (寄付文化の醸成)
- 制度の間にいる人たちへの支援
 - 支援者とのネットワークづくり

これからしていききたいこと

- 子ども食堂同士での連携
- 子育て環境の向上！
- 地域を超えた支援の提供
- イベントの企画実施
- 啓蒙活動

ハピネスのサポーターを探しています🙏🙏

- 物品で支援
- 賛助会員として応援
- 寄付して応援



2022年度 日本財団助成事業

「コミュニティカフェ等、地域共生社会のための活動の担い手育成」

「地域共生ボランティアのすすめ」

パネルディスカッション

～地域共生社会への活動～

令和4年10月2日（日）午後2時～午後4時20分

京都市国際交流会館 2階 特別会議室



パネラー

狭間

明日実

バザールカフェ



連絡先

〒602-0032

京都市上京区烏丸今出川上ル一筋目西入
ル南側岡松町 258

TEL 075-411-2379

e-mail : kyoto.bazaarcafe@gmail.com

担当：狭間 明日実

プロフィール：1992年、大阪生まれ。2015年に同志社大学社会学部社会福祉学科を卒業。在学中バザールカフェで1年間の実習を経て、卒業後そのまま入局。現在はカフェに週2回勤める傍らで、食や地域にまつわる仕事や遊びをしている。バザールカフェは日本基督教団京都教区とアーティスト、市民運動家、大学教員、宣教師牧師などで構成されたバザールカフェプロジェクトとの共同プロジェクトとして始まる。カフェ運営や庭づくりを通して、滞日外国人や体力的な問題など、様々な事情で就労の機会を得にくい人たちに、働く場を提供すること。同時に社会で起こっている課題や、情報提供、活動団体間のネットワーク創りの場としても機能することを目指している。このような問題について、日常的にお茶を飲みながら話したり、情報交換したり、より近い感覚で知ったり話したりできる場所があればいいな、という話から動きだしたプロジェクトが「バザールカフェ」。

「バザールカフェ」の紹介：バザールカフェは日本基督教団京都教区とアーティスト、市民運動家、大学教員、宣教師、牧師などで構成されたバザールカフェプロジェクトとの共同プロジェクトとして始まりました。バザールカフェが目指すのは、セクシュアリティ、年齢、国籍など、異なった現実には生きている人々がありのままの姿で受け入れられ、それぞれの価値観が尊重され、社会の中で共に生きる存在であることを相互に理解し合う場の創出。カフェ運営や庭づくりを通して、滞日外国人や体力的な問題など、様々な事情で就労の機会を得にくい人たちに、働く場を提供すること。同時に社会で起こっている課題や、情報提供、活動団体間のネットワーク創りの場としても機能することです。

（Bazaar Café バザールカフェ）

* HP : <https://www.bazaarcafe.org/>

* instagram :

<https://www.instagram.com/kyoto.bazaarcafe/>

バザールカフェ

- 人が交差する場所 -

地域共生ボランティアのすすめ

2022年10月2日（日）

スタッフ 狭間明日実







カフェ

自由に利用できる。
人や社旗との接点となる。

ソーシャル
ワーク

居場所

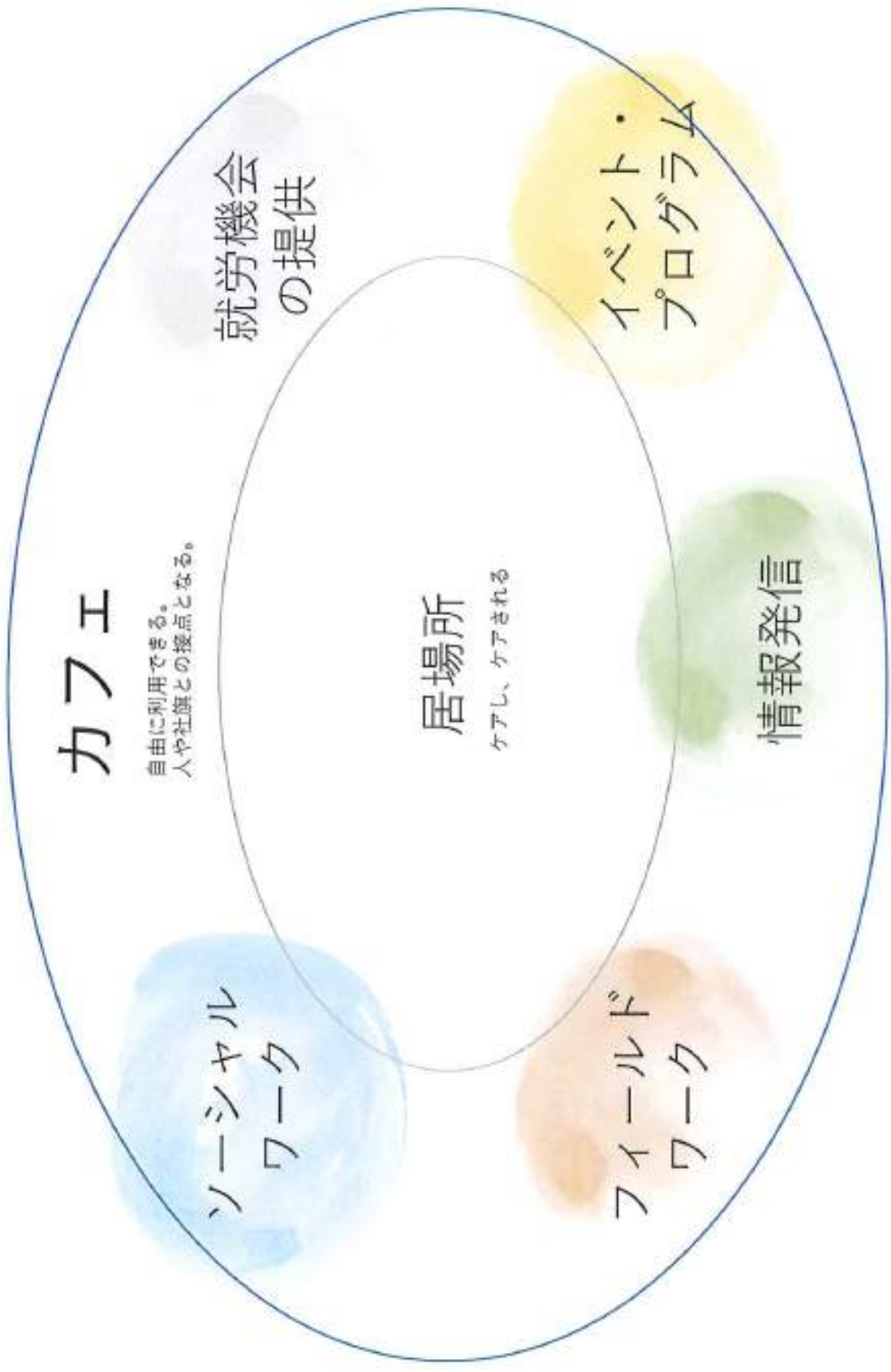
ケアし、ケアされる

フィールド
ワーク

情報発信

就労機会
の提供

イベント・
プログラム



カフェ

自由に利用できる。
人や社旗との接点となる。

ソーシャル
ワーク

居場所

ケアし、ケアされる

フィールド
ワーク

情報発信

就労機会
の提供

イベント・
プログラム

成り立ちは…共に生きる場づくり

○1998年、日本キリスト教団とバザールカフェプロジェクト運営委員会の共同プロジェクトとしてスタート。

○目的は、様々な人たちが、活動内容や立場を超えて自然に出会い、「共に生きる」ことのできる場を創出すること。

○当時関わったメンバーは、**HIV/AIDS**関連団体、滞日外国人支援団体、キリスト教の牧師・宣教師、芸術家、教員、学生、主婦…など

○名前の由来「バザール＝市場」 市場のように人が集い行き交う場



バザールカフェのミッション①

セクシュアリティ、年齢、国籍、病気など様々な現実には生きている人々が、ありのままの姿で受け入れられ、それぞれの価値観が尊重され、社会の中で共に生きる存在であることが相互に確認される場を目指す。そしてこのような様々なことが実は個人の1つの特徴であることが、当たり前を受け入れられるような社会となる小さなきっかけ作りをしていく。



バザールカフェのミッション②

バザールカフェは従来のカフェ（喫茶店）の概念を広げ、人が出会い、交流し、情報を交換し、社会で行われている多様な活動への窓口になる。同時に、様々な事情を持つ滞日外国人、病を抱える人たちなど社会参加の機会が少ない人たちに就労の機会を提供し、同時に働くことにより、社会問題を学ぶ機会を学生に提供していく。



○前提として

- ・ **誰もが弱い存在**である。 あなたも私も、支えを必要とするときがある。
- ・ **それぞれの立場（役割）は交換可能で、流動的。**
「支えるー支えられる」「迷惑かけるーかけられる」「話すー聞かせる」など…

○私たちの姿勢

- ・ 「名付け」をしない。 人を属性や制度にあてはめず、ただの〇〇さんに出会う。
- ・ 「ただ在ることの価値」を根っこに持つ。 何もなくても、何かできなくても。



○バザールカフェでのボランティア

- ・何をするのか
- ・来ている人たちは…
- ・まずは一緒に！

